
笑顔の話

甘楽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

笑顔の話

【Nコード】

N6495H

【作者名】

甘楽

【あらすじ】

シズ一行、キノ一行、師匠一行が、ある笑顔を絶やさない国に行った話。キノの旅に出てくる「中立な話」のような感じになります。

(前書き)

この話には、「キノの旅」の八巻で初登場する「ティー」が出てきます。八巻まで読んでいない人は、ティーがあまり分からないと思います。

できれば八巻か九巻あたりまで読んでから、お読みください。

ある大きな湖の畔に、小さな国がありました。^{ほとり}

その国へある日、バギーに乗った一人のシズと一人のティーと、一匹の陸が訪れました。

小さな国の小さな城門の前に着いたバギーは止まり、シズが入国審査官に入国したいことと、できれば移住もしたいことを話すと、

「移住はいつでも大歓迎です！」

入国審査官は、明るい笑顔でそう言いました。

入国後、二人と一匹は、沢山の国民たちに取り囲まれていました。国の人たちは、みんなニコニコ笑顔です。

シズもその笑顔につられる様にして微笑みました。陸はいつも笑っているような顔をしているので、本当に笑っているのか、普段通りなのか分かりません。そして、

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

ティーは相変わらず、いつものように陸の頭に顎をのせ、仏頂面のお手本のような顔をしていました。

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

笑顔の中で、たった一人だけ仏頂面のティーを見て、シズは苦笑しました。

微笑むシズと、いつも笑っているような顔をした陸は国の人たちに気に入りましたが、いつも仏頂面のティーは、国の人には気に入られませんでした。

次の日。太陽が真上に昇った頃、沢山の笑顔に見送られながら、一人のシズと一人のティーと、一匹の陸はその国を出国しました。

ある大きな湖の畔に、小さな国がありました。

その国へある日、エルメスに乗った一人のキノが訪れました。

小さな国の小さな城門の前に着いたエルメスは止まり、キノが入国審査官に三日間この国に滞在したい棟を告げると、入国審査もそこそこに、入国許可がありました。

「旅人さん、ようこそ！ 私たちの国に」

入国審査官は、明るい笑顔でそう言いました。

入国後、一人と一台は、沢山の国民たちに取り囲まれていました。国の人たちは、みんなニコニコ笑顔です。

キノの足元に明るい笑顔で集まって来た子供たちを見て、キノも笑顔になりました。

素敵な笑顔のキノは国の人たちに気に入られましたが、いつも表情が分からないエルメスは、国の人には気に入られませんでした。

入国して三日後。太陽が真上に昇った頃、沢山の笑顔に見送られながら、一人のキノはエルメスに乗って、その国を出国しました。

「モトラド（注・二輪車。空を飛ばないものだけを指します）なんだから、表情が分からないのが当たり前じゃん」

出国してから、エルメスは一人ごちました。

ある大きな湖の畔に、小さな国がありました。

その国へある日、ぼろぼろで、今にも自壊しそうな黄色い車に乗った一人の師匠と一人のハンサムで背が低い男が訪れました。

小さな国の小さな城門の前に着いた車は止まり、師匠が入国審査官にこの国に滞在したい棟を告げると、入国審査もそこそこに、入国

許可がおりました。

「旅人さん、ようこそ！ 私たちの国に」

入国審査官は、明るい笑顔でそう言いました。

入国後、二人は、沢山の国民たちに取り囲まれていました。

国の人たちは、みんなニコニコ笑顔です。

ハンサムな男は、手を振りながら、笑顔を返していました。

しかし、師匠はいつものように無表情です。

「師匠。少しは笑ったらいかがです？」

男に言われた師匠は、ニコニコ笑顔を浮かべる国民たちを見て、恐ろしいほど不敵な笑みを浮かべました。

国民の笑みは一瞬で凍りました。

明るい笑顔のハンサムな男は国の人たちに気に入りましたが、不敵な笑みが恐ろしい師匠は、国の人には恐がられてしまいました。

次の日。太陽が真上に昇った頃、沢山の苦々しい笑顔に見送られながら、一人の師匠と一人のハンサムで背が低い男はその国を出国しました。

(後書き)

さて、どうだったでしょうか？

最初、私は「笑っている国」として、全く違う、シリアスな話を書こうとしていたら、超ビミョーになってしまつて、あえなくこうなつてしまいました（どうやったら、こうなるんだよ！！）

感想などがあれば、書いてください。作者は大歓迎です☆

ちなみに、二次創作は初の試みなので、ビミョかもしれません、、、、、、

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6495h/>

笑顔の話

2010年10月9日17時38分発行